平成２８年度　伊那市学校人権同和教育実践計画概要

学校名　　伊那市立西箕輪中学校

テーマ　　好ましい人間関係作りを目指しながら、自他を尊重する心を育て、
差別や偏見を許さずなくしていこうとする実践力を身につける。

	学年	人権課題（※1）	扱う資料等	取組内容（箇条書で簡潔に）
学年ごとの取り組み予定	1	・③高齢者 ・④障害者 ・⑤同和問題 ・⑭人権一般	・「あけぼの」 ・ＤＶＤなどの映像資料の視聴 ・道徳で扱う資料 など	・福祉施設（大萱の里、はびろの里）訪問交流 ・障がい者差別 ・高齢者差別 ・自他の良さに気づく授業 ・生命の誕生、性との向き合い方
	2	・②子ども ・⑤同和問題 ・⑭人権一般	・「あけぼの」 ・ＤＶＤなどの映像資料の視聴 ・道徳で扱う資料 ・家庭科学習内容	・保育園児との訪問交流 ・部落差別に関わる問題 ・自他の良さに気づく授業
	3	・②子ども ・④障害者 ・⑤同和問題 ・⑭人権一般	・「あけぼの」 ・ＤＶＤなどの映像資料の視聴 ・道徳で扱う資料 ・進路学習	・伊那養護学校との交流 ・障がい者差別 ・高校進学に伴う偏見 ・自他の良さに気づく授業
人権同和教育推進上の悩み			・日々の授業や生活の中で、自他を認める授業を実践していきたい。他者との意見交換等を通して考えを深めたり、「対話的な学び」を推進していくことについて。	

				①講師決定理由・人権課題 ②工夫改善点 ③取組内容・新たな取組等
生徒	研修講演会	テーマ/タイトル	現在検討中	①「生徒自身が実感を持ち実践していこうとする」ためのきっかけとなるようにしたい。そのために事前に考えさせたり、意見交換をさせたりする時間を充実させたい。
		講師名・所属等	現在検討中	
	アンケート等		QUｱﾝｹｰﾄ　実施学年　全学年　実施回数　２回 その他　・いじめアンケート　教育相談	②形式的に行うのではなく、生徒理解の一助となるようにしていきたい。
	生徒会の取組		③「西箕輪中学校人権宣言」を意識し、日々の生活が送れるように生徒会活動や生徒集会を行い、そのことを通して人権感覚を磨いていけるような取り組みを生徒と共に計画したい。「縦割り討論会」はそれを実践するための一助としたい。	
保護者	研修講演会	テーマ/タイトル	本年度は１１／９に小中合同講演会を保護者・職員で実施する。内容などについては現在検討中	①生徒に対する研修と同様に、「知識として」ではなく、日々の生活の中で実践していくことのできるためのきっかけ作りとして捉えたい。
		講師名・所属等	現在検討中	
	家庭への発信・連携		③小中合同で講演会を実施するので、「小中分け隔てなく、地域の子どもは地域で見るんだ」という意識を高めていく一助になるものと期待できる。よって、地域の人権意識を高めていく一助としていきたい。	
職員	研修講演会	テーマ/タイトル	自他との違いを受け入れる	①日々の生活の中で、係のならず、全職員で実践し、人権意識を高めていくための一助としたい。
		講師名・所属等	山崎　直（スクールカウンセラー）	
	校内組織の取組		③特別支援学級に所属している生徒の理解を深めることも行っていきたい。	
○地域組織、他学校、福祉施設との交流・連携 ○地域への発信等			②各施設などと綿密に打ち合わせを重ね、事前学習などの充実を図りながら、生徒が主体的に交流を進められるようにしていきたい。 ③「福祉施設との交流」（年２回）「保育園児との交流」（年２回）「伊那養護学校との交流」（年３回）	

【※１】人権課題について（　下記から選んで記入してください。記入例「　④障害者　」　　）
①人権一般（生命尊重、自尊感情、コミュニケーション能力等）　②女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）男女平等　③子ども（いじめ、こどもの権利等）　④高齢者　⑤障害者　⑥同和問題　⑦アイヌの人々　⑧外国人　⑨インターネット、携帯電話等による人権侵害　⑩HIV感染者、ハンセン病患者　⑪刑を終えて出所した人　⑫犯罪被害者　⑬北朝鮮当局による拉致被害者問題　⑭性的指向に関わる問題　⑮満州開拓団・中国帰国者　⑯東日本大震災